

平成 30 年度 神戸市民病院機構医療安全の取り組みについて

～医療事故公表・医療安全の取組状況の報告～

神戸市民病院機構（神戸市立医療センター中央市民病院、西市民病院、西神戸医療センター、神戸アイセンター病院）における平成 30 年度の医療事故公表の状況及び医療安全の取り組みの状況は下記の通りです。

1. 医療事故の公表事案件数

	28 年度	29 年度	30 年度
中央市民病院	2 件 (レベルA2 件)	2 件 (レベルA2 件)	2 件 (レベルA2 件)
西市民病院	0 件	1 件 (レベルA1 件)	1 件 (レベルC1 件)
西神戸医療センター	0 件	2 件 (レベルA2 件)	2 件 (レベルA1 件 レベルC1 件)
神戸アイセンター病院		0 件	1 件 (レベルA1 件)

※医療事故…患者が本来持っていた疾病や体質などの基礎的条件によるものを除き、医療にかかるところでの医療の全過程において発生した患者に傷害を及ぼした事象を医療事故といい、このうち、医療側に過失がある場合を、医療過誤という。

(レベル区分)

レベル	態 様
A	事故等のために予期しなかった、もしくは予期していたものを上回る濃厚な処置や治療の必要性が生じた場合。
B	事故等のために予期しなかった、もしくは予期していたものを上回る永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害を伴う場合。
C	事故等が死因となる場合。(原疾患の自然経過によるものを除く)

2. インシデントレポート報告件数及びアクシデント件数

		28 年度	29 年度	30 年度
中央市民病院	インシデント	5,106 件	5,224 件	5,054 件
	うちアクシデント	10 件 (19 件)	9 件 (12 件)	6 件 (8 件)
西市民病院	インシデント	1,784 件	1,674 件	1,673 件
	うちアクシデント	6 件	8 件	5 件

		28年度	29年度	30年度
西神戸医療センター	インシデント	2,426件	2,452件	2,679件
	うちアクシデント	4件(19件)	6件(17件)	11件(24件)
神戸アビセンター病院	インシデント		104件	278件
	うちアクシデント		0件	2件

※インシデント…医療の全過程のうち、いずれかの過程において、患者に傷害を及ぼすことはなかったが、注意を喚起すべき事例（医療現場においてヒヤリとしたり、ハッとするような事例であることから、『ヒヤリ・ハット事例』ともいう）

※アクシデント…医療の全過程のうち、いずれかの過程において発生した患者に傷害を及ぼした事例（医療側に過失がない場合も含む）

※アクシデント件数の（ ）書きは合併症（検査や治療に伴って、ある確率で不可避に生じる病気や症状）を含む件数

3. 医療安全に関する取り組みの状況（概要）

（法人全般）

当機構の各病院では、医療安全管理室を設置し、専任の安全管理担当者が各部門、部署と連携して継続的な医療安全活動に取り組んでいます。

各市民病院において、重大な医療事故を未然に防ぎ、リスクを回避する方策の立案や、医療事故の再発防止及び問題意識の共有を図るため、積極的にインシデントレポートを提出するよう働きかけを行っています。また、医療安全に関する相互評価を行い、医療安全対策の客観的な把握に努めています。

神戸市民病院機構全体の平成30年度のインシデントレポート報告件数は、9,684件となっており、各病院では、インシデント報告を積極的に行うよう院内で周知を図っております。

神戸市民病院機構では、病院運営の透明性を高め、医療への信頼を確保するため、また院内・院外への情報提供の場として、さらなる事故等防止を図っていくために、市民病院医療安全会議を開催し、外部委員の参画を得て、医療事故の公表指針にてらして公表するかどうかの検討を行っています。

引き続き平成30年度についても、市民病院群医療安全会議を定期的で開催（年4回）するとともに、医療安全対策など医療安全管理にかかる情報をホームページに掲載しました。